



情報誌

気になるあの人に会いに

MORI HANAKO



地域で自分らしく働き、暮らす人にお話を聞きました。

夫婦同じ職場で育児休業の取得を実現。

プロフィール
八戸ブックセンター

森花子 さん

神奈川県横浜市出身。2016年、夫の佳正さんと共に八戸市へ移住。八戸ブックセンターで、ギャラリーやイベントの企画を行う。

初めてづくしの
育児休業

八戸ブックセンターは2016年にオープンした施設なので、育児休業を利用するのは私が初めてでした。男性の育児について議論されている昨今、夫も積極的に育児をしたいという考えがあったため、育児取得してもらうことにしました。ただ、私たちは同じ職場という特殊な環境。休みの間、他の職員たちにしわ寄せがいつてしまいます。罪悪感がありました。子どもを産むのは一度きりかもしれない、思い切ること。に。所長が「育児は二人でとったほうがいい」と背中を押してくれたので、踏み切ることができました。

夫婦で同じだけ
育児をする

私たちは共働きで、頼れる親族も近くにいません。だから、私だけがわかってる状態にするのは避けた

くて、二人で同じように育児をスタートしました。

夫婦で初めての育児、慣れないながらも二人で一緒に迷ったり悩んだり。そうして苦楽を共にすることで、夫婦で同じ意識を共有できるようにになりました。ただ、育児3カ月目くらいからは、夫婦で一緒にいる時間が長すぎて、ケンカすることも……。育児をどちらかが長く取得する、交代で取得するなどの工夫も必要かもしれません。

事例を重ねていく
ということ

職場としては、人員が二人減ったため、かなり大変だったと思いますが、職場全体でフォローしてもらえてありがたかったです。また、育児取得する前例を作ったことで、道を切り拓いたという側面も。こればかりは事例を重ねていくしかないと思います。所長がそうしてくれたように、次に育児取得したい人がいたら、あたたかく背中を押したいです。

気になるあの人に会いに

「男女一人ひとりが生き生きと暮らすことのできるまち 八戸市」
その実現に向けてさまざまな取り組みをしています。

八戸市からのお知らせ

ラジオ番組「キラ☆スタ両立ナビ」
BeFM 76.5MHz 毎週(土) 16:30~16:45 放送

ゲストをお迎えし、働き方や考え方、生き方などさまざまなお話を伺っています。過去の放送は BeFM ホームページで視聴可能!



BeFMホームページ

リーフレット「知ることからはじめよう、LGBTQ+～多様な性のあり方について考える～」

令和5年7月発行
多様な性のあり方についての考え方や、用語の説明、当事者が感じている困難事例などを紹介しています。市ホームページで閲覧可能!



市ホームページ

男女共同参画社会を考える情報誌
「WITH YOU」年2回発行(10月・3月)

今号からリニューアルしました。

バックナンバーは市ホームページで閲覧可能!



市ホームページ

ほかにもこんな事業を実施中

- ・著名な講師から男女共同参画について学ぶ講演会
- ・各種イベント等でのパネル展示やパネルアンケート
- ・女性のスキルアップとネットワークづくりを目的とした連続講座 など



市ホームページ